

2020年4月27日  
株式会社日本政策金融公庫

**回答者の44.6%が農業経営の収入保険に加入済み、もしくは加入予定  
～ 加入理由は近年の自然災害の甚大化が要因～**

＜農業景況調査（令和2年1月調査）＞

日本政策金融公庫農林水産事業が行った「農業景況調査（令和2年1月調査）」において、「災害に対する備え」をテーマに、農業者の収入減少を補償するため平成31年1月に開始された「収入保険制度」の加入状況などについて調査いたしました。

**＜調査結果の概要＞**

- 担い手農業者における収入保険への加入状況は、「加入している」26.4%、「今後加入予定」18.2%となり、両者を合わせた割合は44.6%となりました。
- 収入保険に加入している理由は、「近年の自然災害の甚大化」が69.7%と最多になりました。続いて「農業共済等の他制度より有利」が20.5%、「今まで利用できる保険がなかった」が6.7%となりました。
- 収入保険に加入したきっかけは、「NOSA Iからの呼びかけ」が74.9%と最も高く、次いで「農協からの情報提供」が31.3%、「行政・普及からの情報提供」が23.9%となりました。
- 収入保険に加入しない理由としては「農業共済等、国の他の補償制度を利用している」が62.7%と最も高くなりました。次いで「収入保険制度をよく知らない」が26.2%、「自己資金で対応する」が19.8%となりました。

■詳細は、添付のレポートをご参照ください。

調査時期 令和2年1月  
 調査方法 往復はがきによる郵送アンケート調査  
 調査対象 スーパーL資金又は農業改良資金のご融資先のうち19,085先  
 有効回答数 6,676先（回収率：35.0%）

稲作（北海道）：773、稲作（都府県）：1,660、畑作：616、露地野菜：624、  
 施設野菜：552、茶：126、果樹：345、施設花き：158、きのこ：69、  
 酪農（北海道）：261、酪農（都府県）：249、肉用牛：435、養豚：220、  
 採卵鶏：126、ブロイラー：75、その他：387  
 ※収入保険の対象外である肉用牛、養豚、採卵鶏のみ生産している者も調査対象に含む。

**＜お問い合わせ先＞**

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部（担当：高田、水本）TEL：03-3270-5585  
 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

# 農業景況調査

## ～災害に対する備えについて～

### ～目次～

- I .調査概要 ..... P2
- II .収入保険の加入状況について..... P3～5
- III .収入保険加入の理由 ..... P6～8
- IV .収入保険加入のきっかけ ..... P9～11
- V .収入保険に加入しない理由 ..... P12～15

# I. 調査概要

- 調査時期: 令和2年1月
- 調査方法: 往復はがきによる郵送アンケート調査
- 調査対象: スーパーL資金又は農業改良資金のご融資先のうち19,085先
- 有効回答数: 6,676先(回収率35.0%)

(内訳)

稲作(北海道): 773、稲作(都府県): 1,660、畑作: 616、露地野菜: 624  
施設野菜: 552、茶: 126、果樹: 345、施設花き: 158、きのこ: 69、  
酪農(北海道): 261、酪農(都府県): 249、肉用牛: 435、養豚: 220、  
採卵鶏: 126、ブロイラー: 75、その他: 387(収入保険の対象外である肉  
用牛、養豚、採卵鶏のみを生産している方も調査対象に含んでいます。)

<お問い合わせ先>

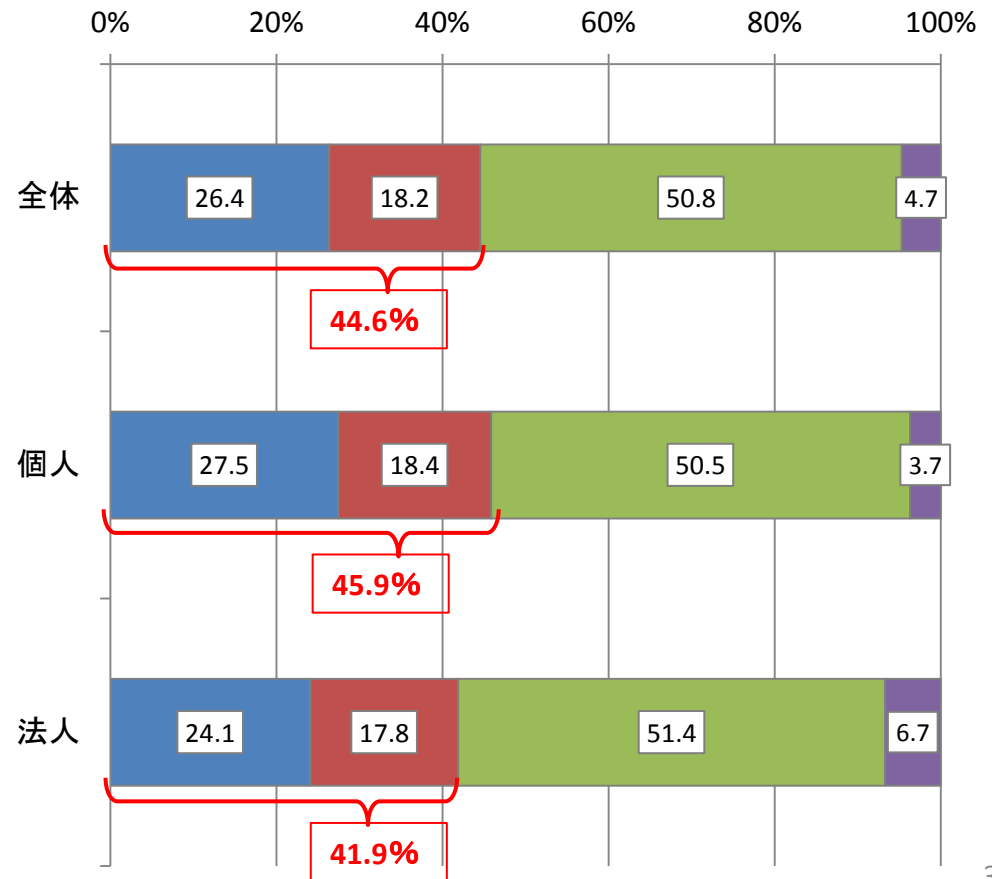
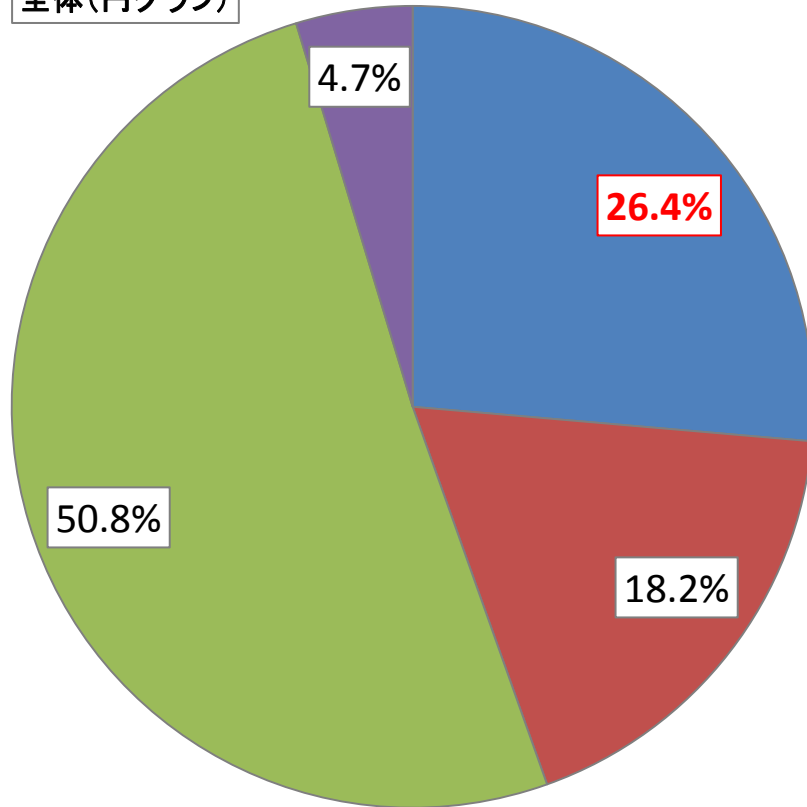
日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部 (担当: 高田、水本) TEL: 03-3270-5585  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

## Ⅱ-1. 収入保険の加入状況について(全体、個人法人別)

- ・収入保険の加入状況は全体の26.4%。「加入している」と「今後加入予定」合わせて44.6%となった。
- ・個人法人別の「加入している」と「今後加入予定」を合わせた割合は、個人が45.9%、法人が41.9%となった。

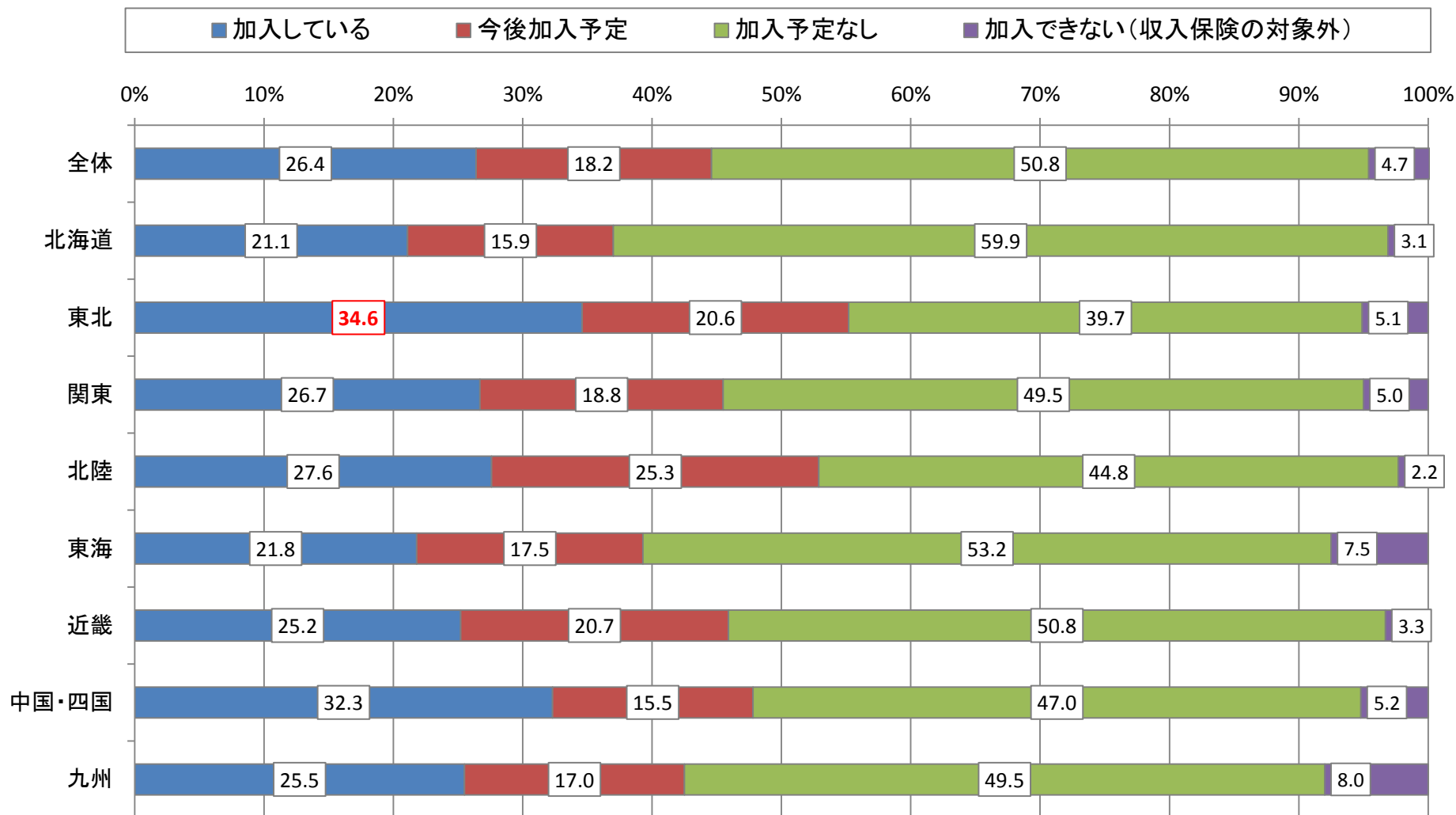
■ 加入している      ■ 今後加入予定      ■ 加入予定なし      ■ 加入できない(収入保険の対象外)

全体(円グラフ)



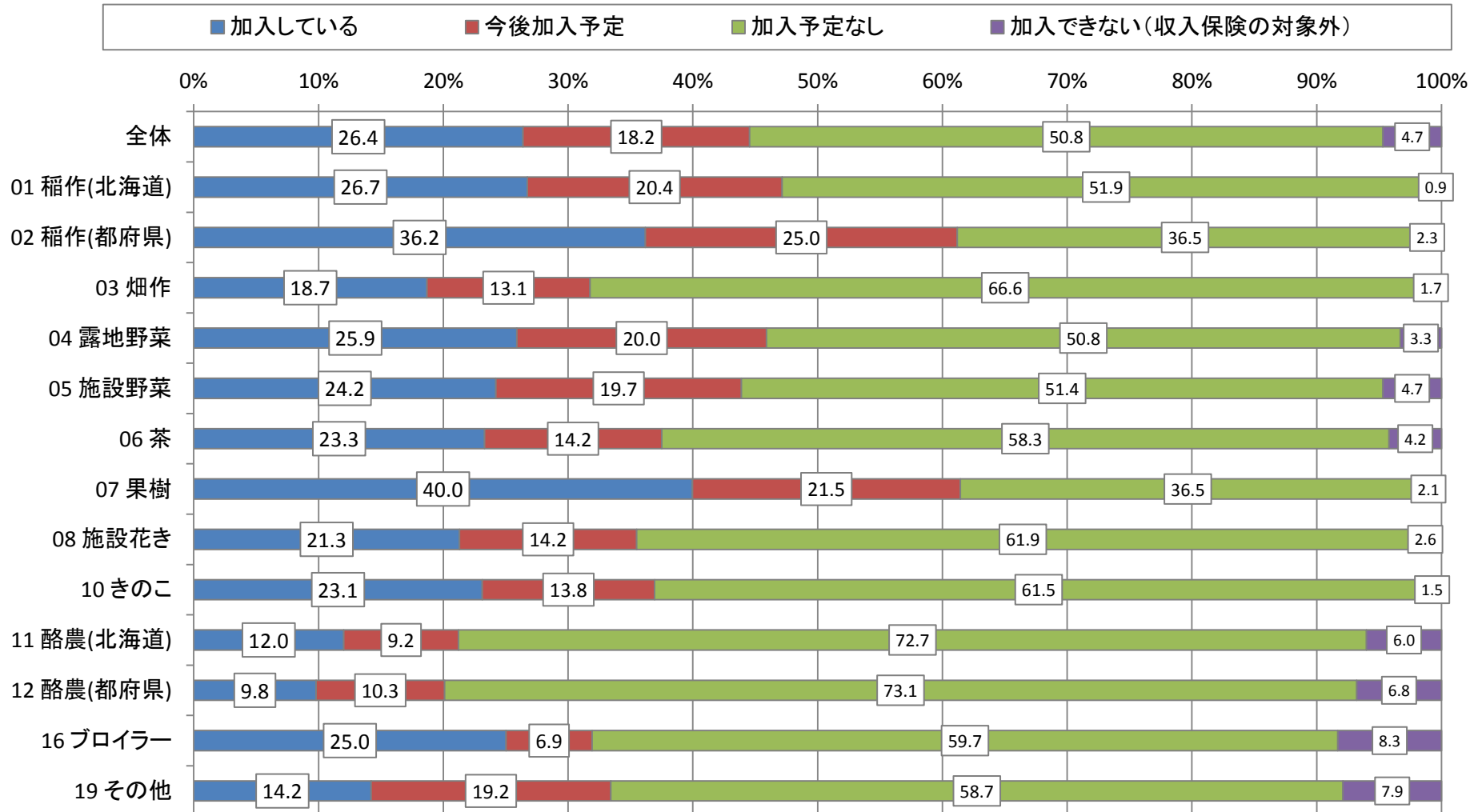
## Ⅱ-2. 収入保険の加入状況について(地域別)

- ・「加入している」の割合は東北が34.6%と最も高くなった。
- ・「加入している」、「今後加入予定」を合わせた割合が半数(50%)以上である地域は、東北及び北陸の2地域。



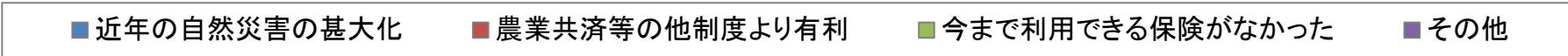
## Ⅱ-3. 収入保険の加入状況について(業種別)

- ・「加入している」の割合は果樹が最も高くなった。
- ・「加入している」、「今後加入予定」を合わせた割合が半数(50%)以上である業種は、果樹及び稲作(都府県)の2業種。

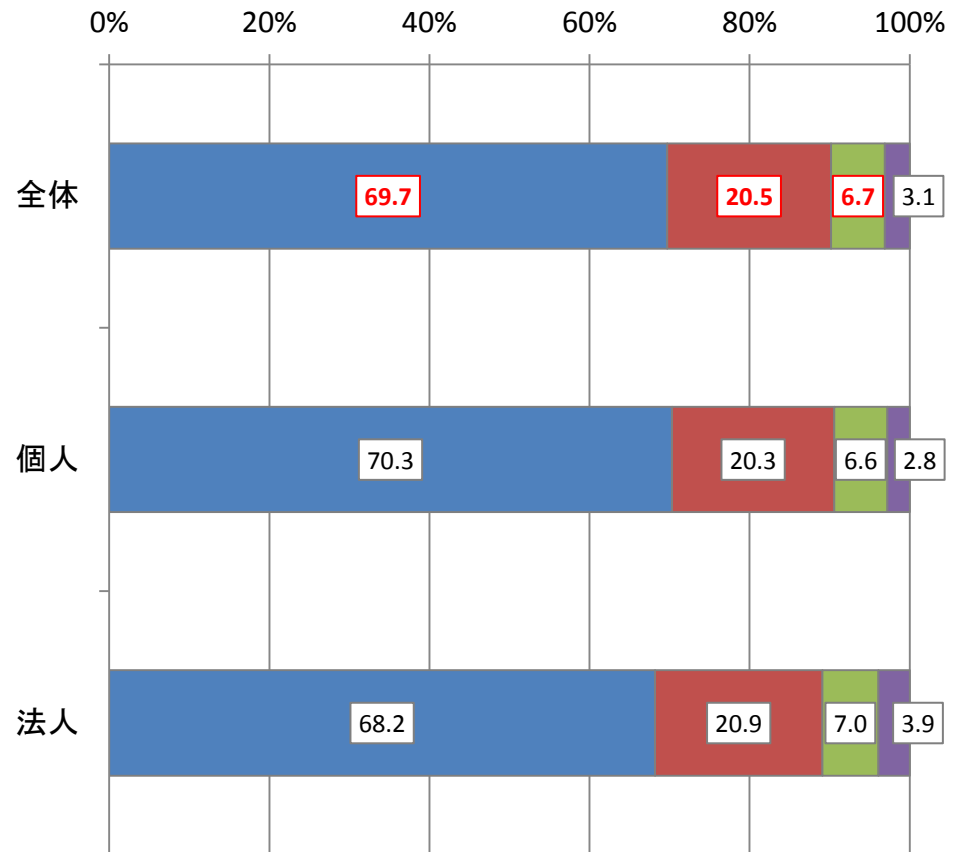
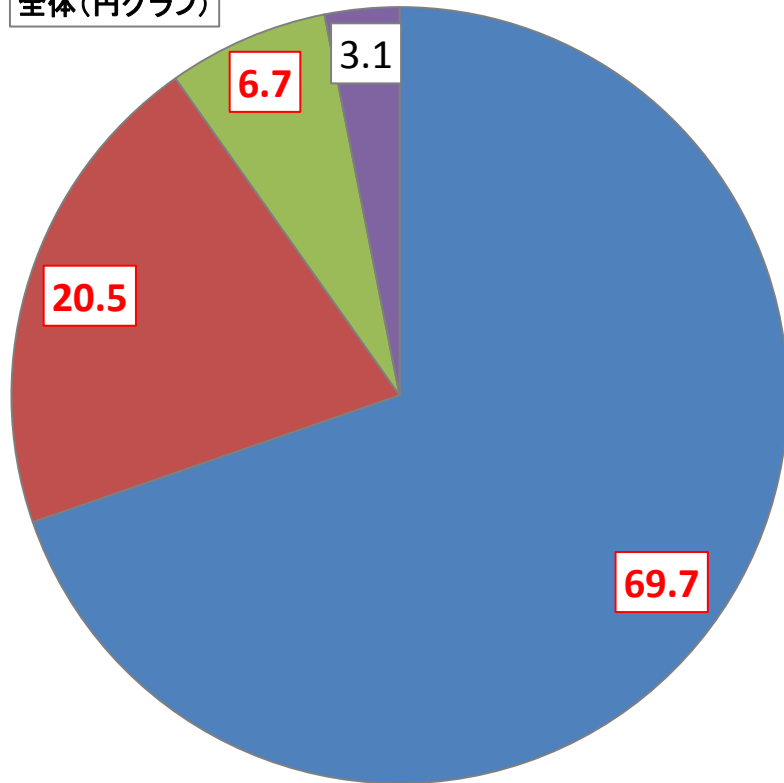


# Ⅲ-1. 収入保険加入の理由(全体、個人法人別)

・収入保険加入の理由として最も多いのは「近年の自然災害の甚大化」で69.7%。次いで「農業共済等の他制度より有利」が20.5%、「今まで利用できる保険がなかった」が6.7%となった。

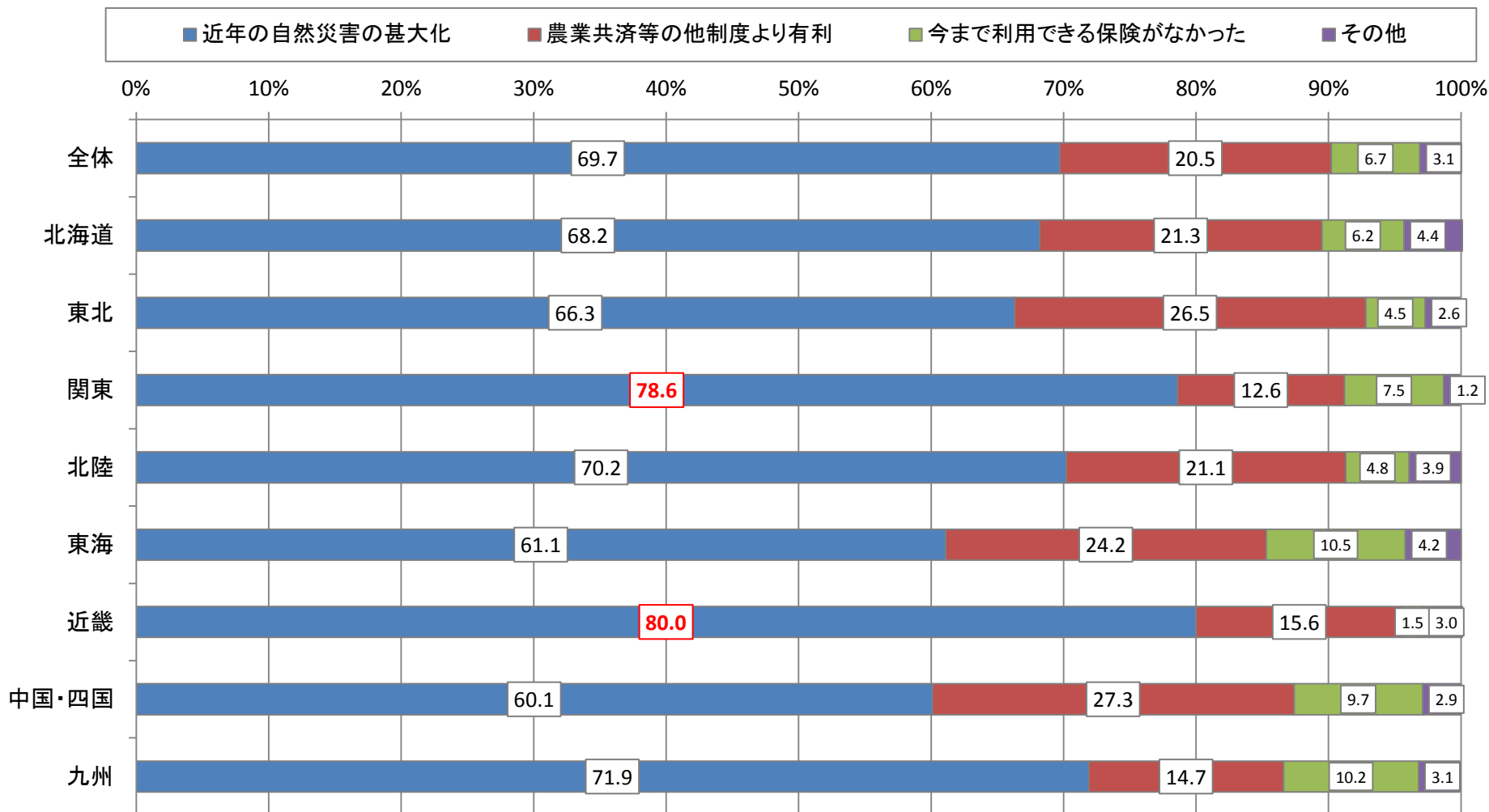


全体(円グラフ)



## Ⅲ-2. 収入保険加入の理由(地域別)

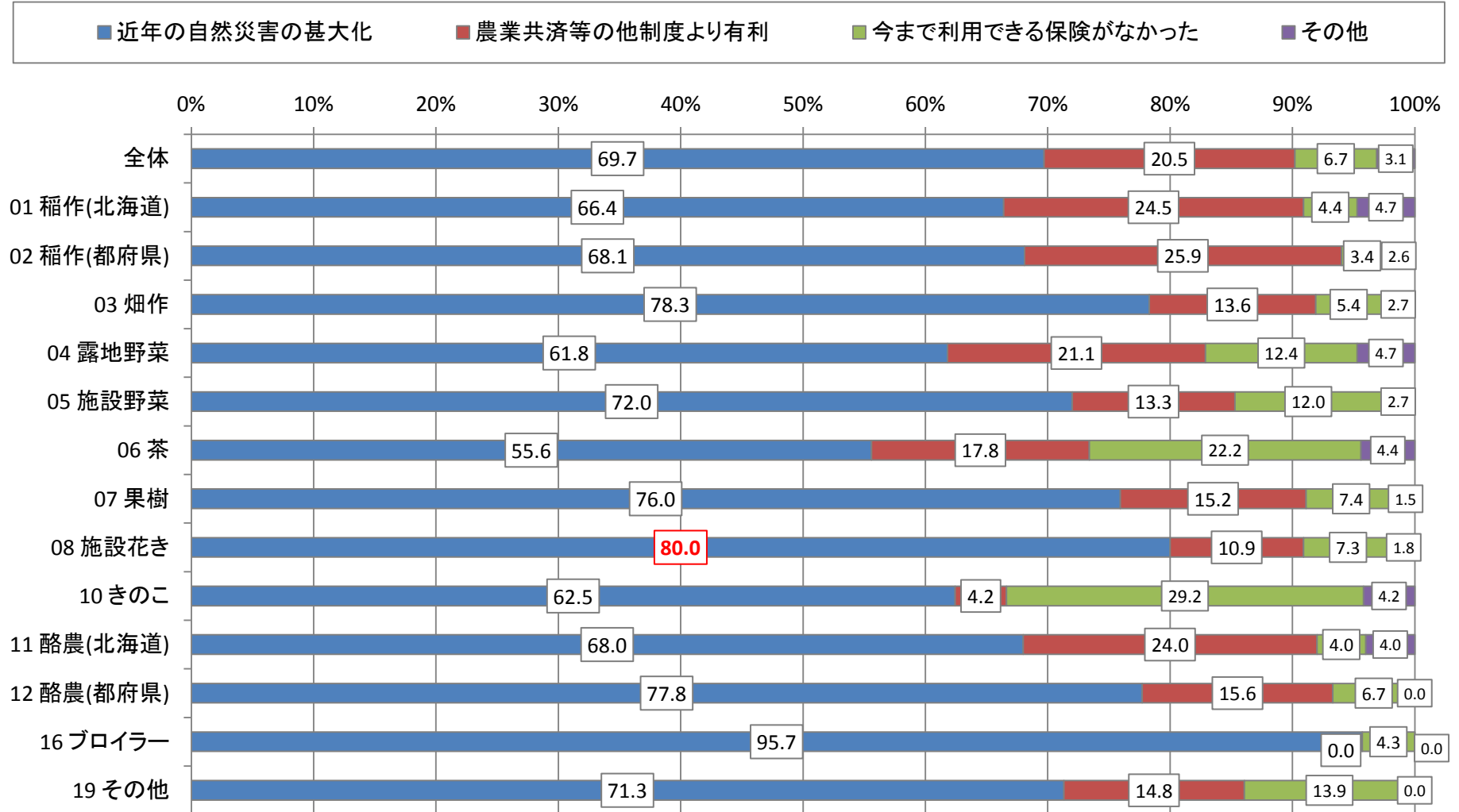
- ・収入保険加入の理由として最も多いのは全地域で「近年の自然災害の甚大化」であり、地域別に見ると近畿80.0%、関東で78.6%と特に高くなった。
- ・「農業共済等の他制度より有利」とする割合は、中国・四国及び東北において他地域より高くなった。





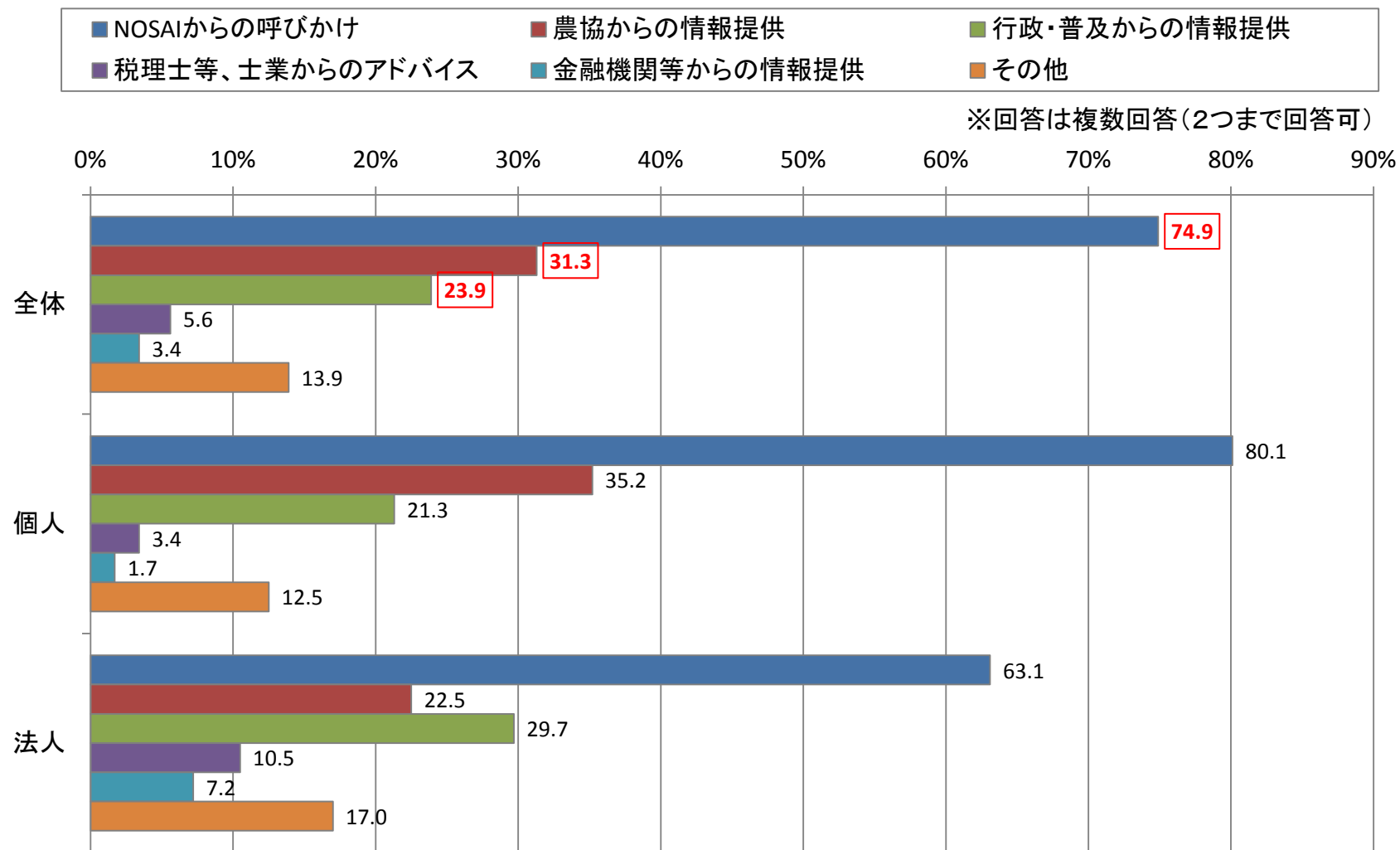
### Ⅲ-3. 収入保険加入の理由(業種別)

- ・収入保険加入の理由として最も多いのは全業種で「近年の自然災害の甚大化」であり、耕種では特に施設花き80.0%、畑作78.3%、果樹76.0%で高くなった。
- ・「農業共済等の他制度より有利」の割合は他業種に比べて稲作で高くなった。



# IV-1. 収入保険加入のきっかけ(全体、個人法人別)

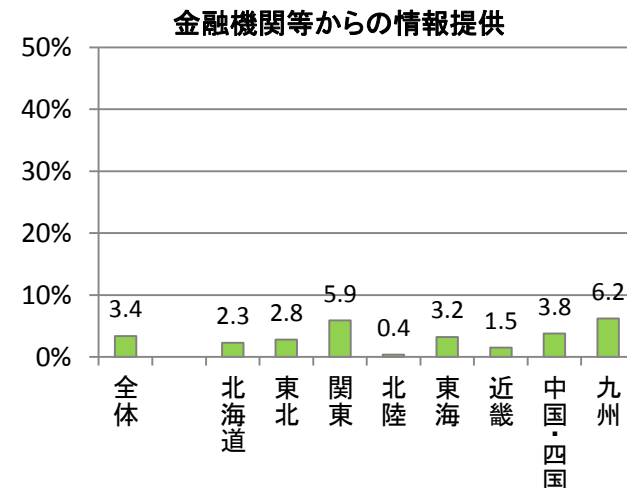
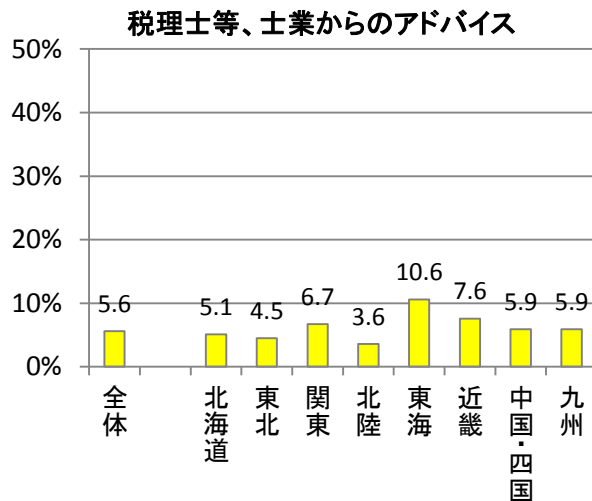
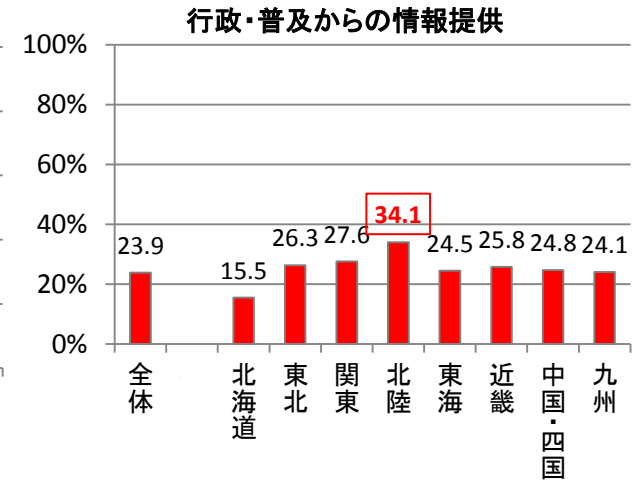
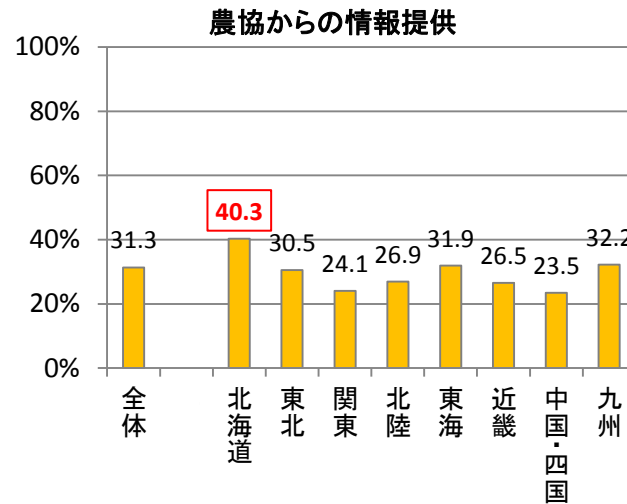
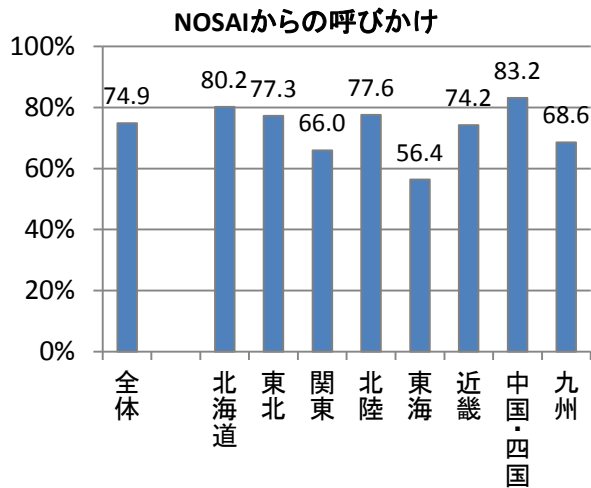
- ・収入保険加入のきっかけとしては「NOSAIからの呼びかけ」が74.9%と最も高く、次いで「農協からの情報提供」が31.3%、「行政・普及からの情報提供」が23.9%となった。
- ・法人は個人に比べて、行政や税理士、金融機関などの割合が高くなった。



## IV-2. 収入保険加入のきっかけ(地域別・選択肢別)

- ・収入保険加入のきっかけとしては「NOSAIからの呼びかけ」が全地域で高く、中国・四国及び北海道は8割以上となった。
- ・「農協からの情報提供」は北海道が40.3%と最も高く、「行政・普及からの情報提供」は北陸が34.1%と最も高くなった。

※回答は複数回答(2つまで回答可)

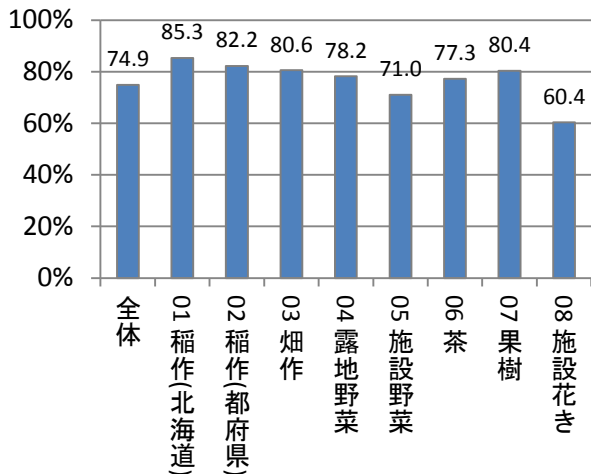


# IV-3. 収入保険加入のきっかけ(耕種・業種別・選択肢別)

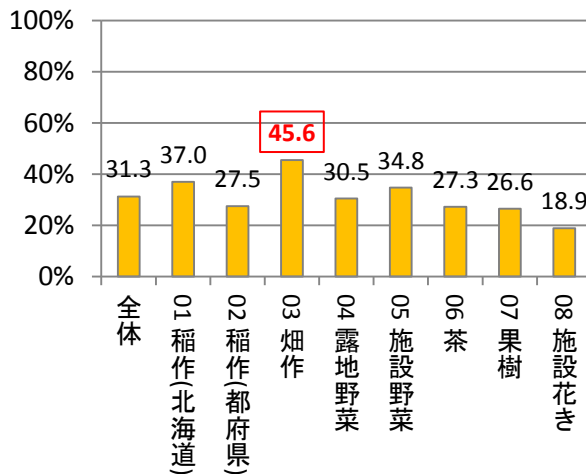
- ・業種別においても、「NOSAIからの呼びかけ」が最も高い割合を示した。
- ・畑作は「農協からの情報提供」が45.0%以上と高くなった。

※回答は複数回答(2つまで回答可)

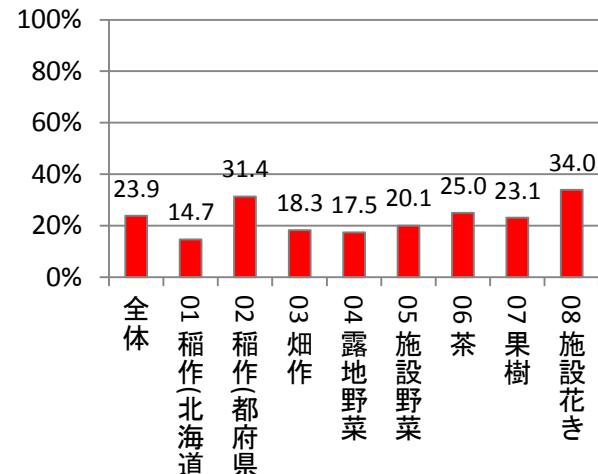
NOSAIからの呼びかけ



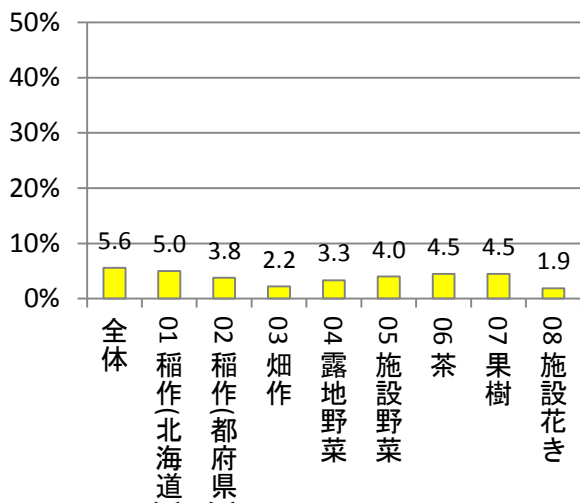
農協からの情報提供



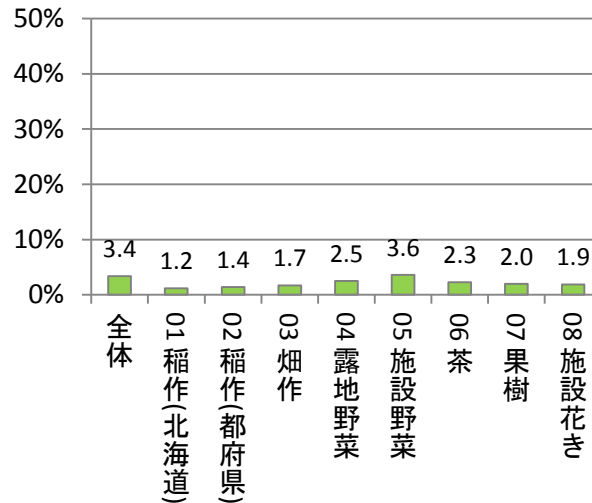
行政・普及からの情報提供



税理士等、士業からのアドバイス

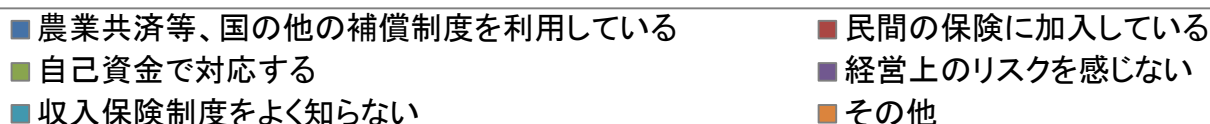


金融機関等からの情報提供

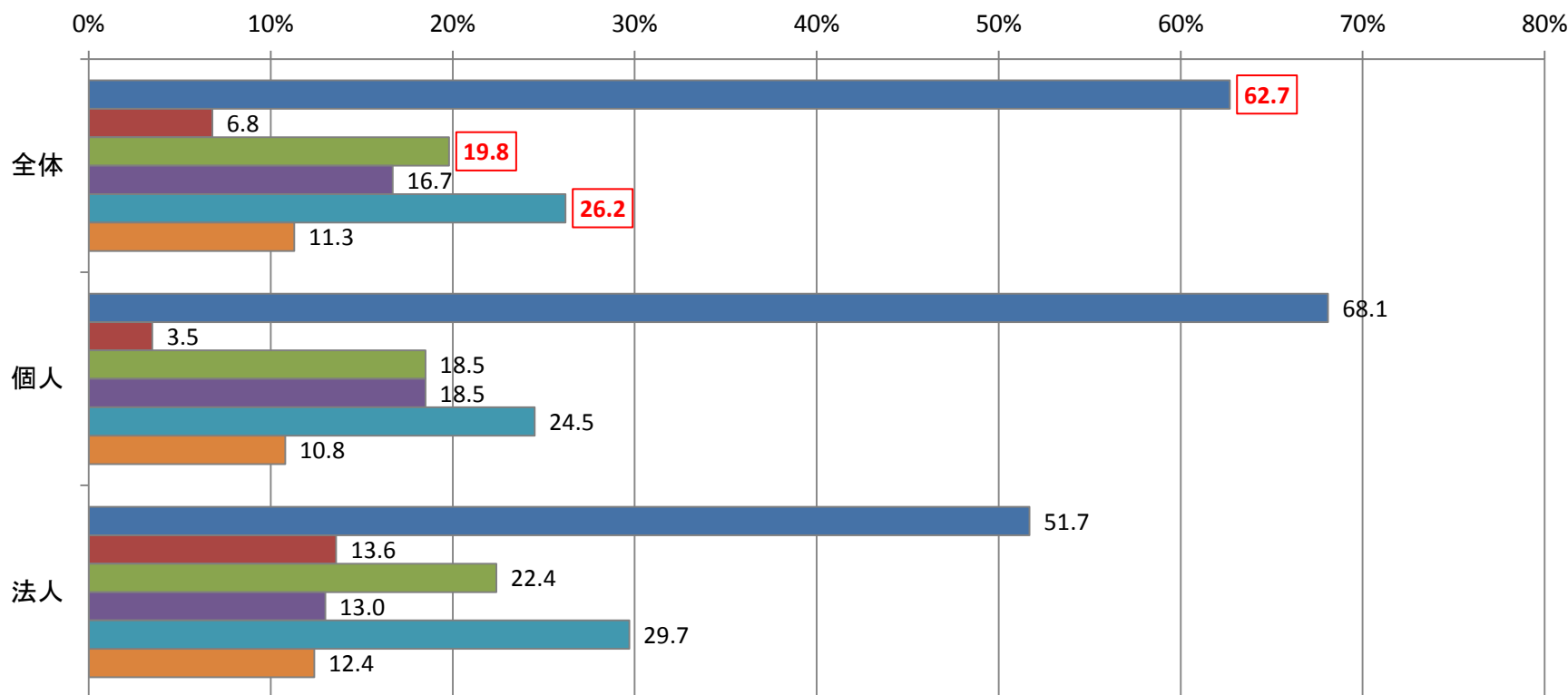


# V-1. 収入保険に加入しない理由(全体、個人法人別)

- ・収入保険に加入しない理由は「農業共済等、国の他の補償制度を利用している」が62.7%と最も高く、次いで「収入保険制度をよく知らない」が26.2%、「自己資金で対応する」が19.8%となった。
- ・「民間の保険に加入している」とする割合は法人の方が個人より10.0%以上高くなった。  
※国の他の制度を利用している場合には、収入保険に加入できない。



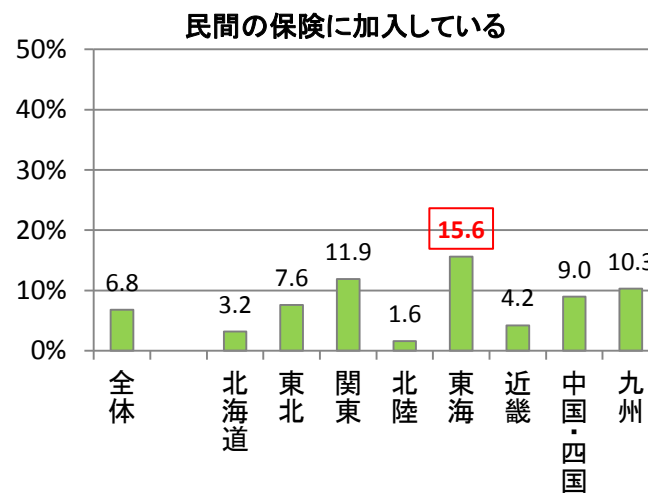
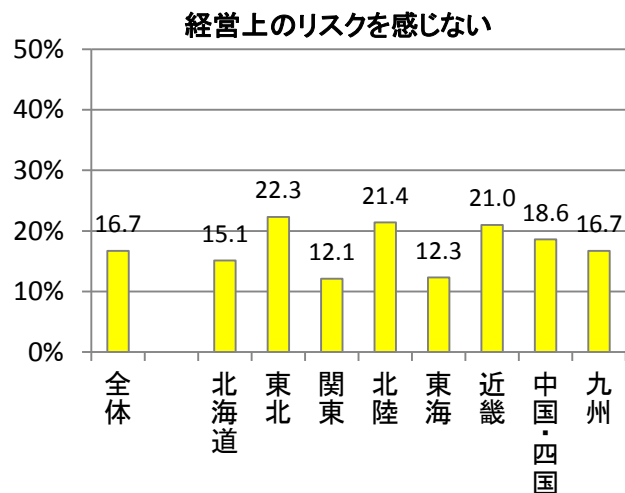
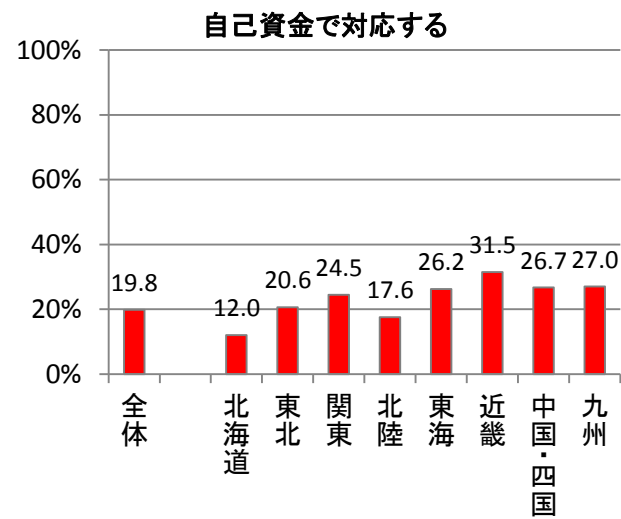
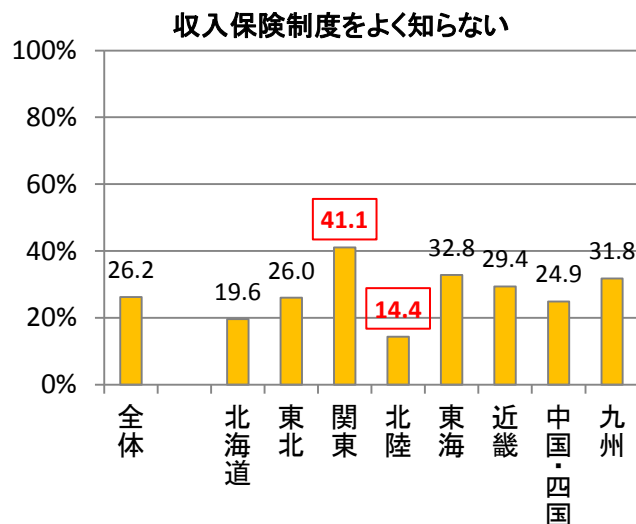
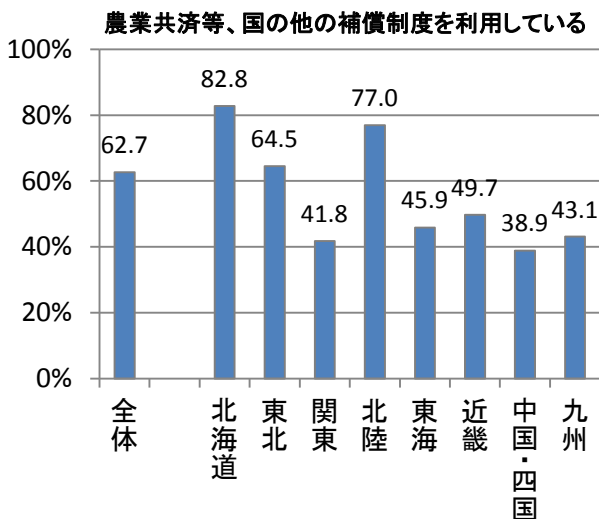
※回答は複数回答(2つまで回答可)



# V-2. 収入保険に加入しない理由(地域別・選択肢別)

- ・「農業共済等、国の他の補償制度を利用している」とする割合が高いのは北海道及び北陸。
- ・「収入保険制度をよく知らない」とする割合は関東が41.1%と最も高く、逆に北陸は14.4%と低くなった。
- ・「民間の保険に加入している」とする割合は東海が15.6%と最も高くなった。

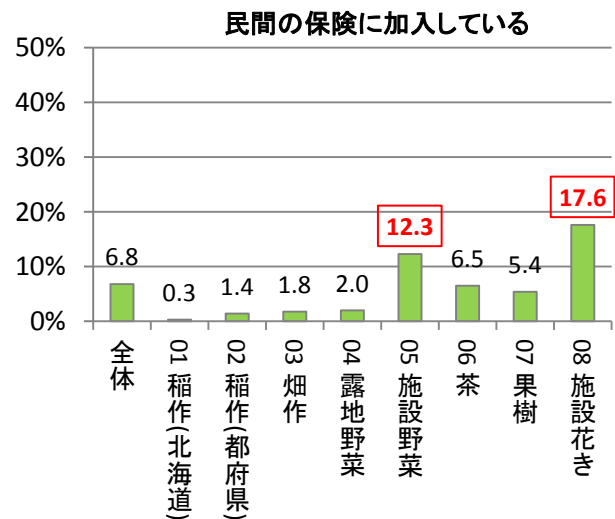
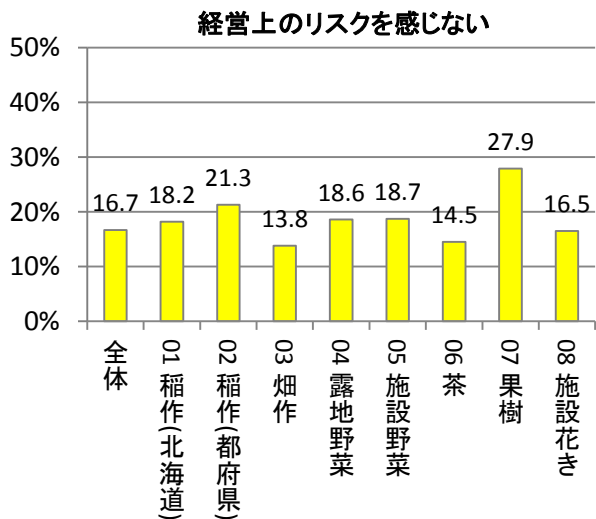
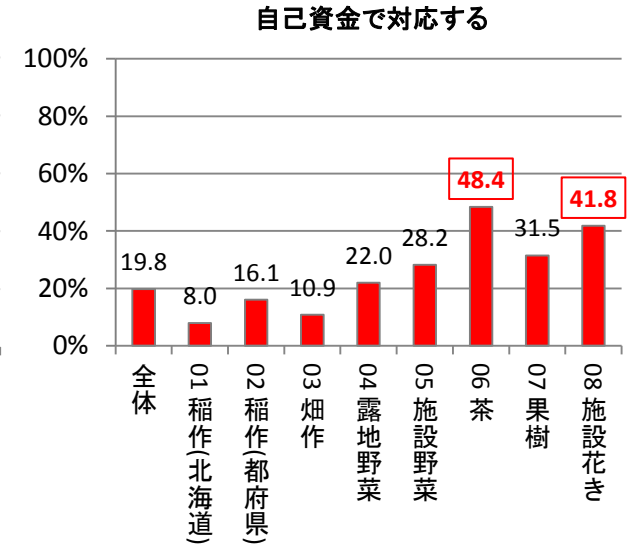
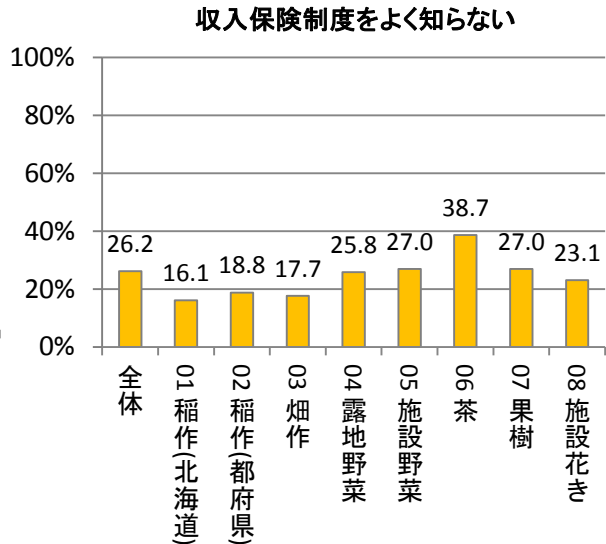
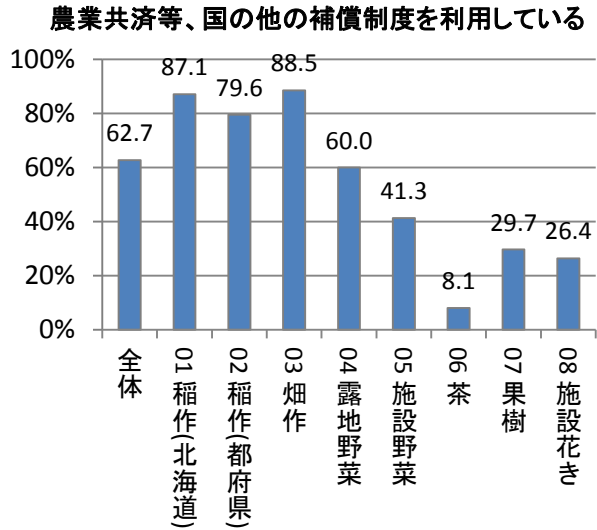
※回答は複数回答(2つまで回答可)



# V-3. 収入保険に加入しない理由(耕種・業種別・選択肢別)

- ・「農業共済等、国の他の補償制度を利用している」とする割合は畑作及び稲作が特に高い。
- ・「自己資金で対応する」とする割合は茶が48.4%、施設花きが41.8%と高くなった。
- ・「民間の保険に加入している」とする割合は施設花きが17.6%、施設野菜が12.3%と高い。

※回答は複数回答(2つまで回答可)



# V-4. 収入保険に加入しない理由(業種別)

- ・稲作、畑作、野菜及び酪農では「農業共済等、国の他の補償制度を利用している」との割合が最も高く、茶、果樹及び施設花きでは「自己資金で対応する」との割合が最も高くなった。
- ・ブロイラーやきのこは「収入保険制度をよく知らない」の割合が最も高くなった。



※回答は複数回答(2つまで回答可)

